

1— de Janeiro de 1928 N.556

16.7 N.5572
1-1-1928
26-12-N.6929

Nippak Shim bun

Director Sack Miura

Tel. Cet. 6183 Caixa 375 S.Paulo

日伯新聞

年頭言

坤圓めぐつて茲に又春を迎へることになつた。過ぐる年は畏くも先帝陛下の御登遐に際會し其身の母國に在るさ異郷に在る

を聞くものは齊しく度みのうち

に之を送つたのであつたが、今

や歲華一新、諒闇は明け、殊に

新帝陛下御即位の御盛典も此秋

に行はせられるこではあり吾

等は舉つて心から和やかな陽光

を浴びて新春を祝福してい

統計の示すところに依れば近

年に於ける母國の人口は前古未

曾有の速度を以て増加しつゝも

從來の如き消極策を維持して

ゐては人口調節上何等の効果を

も期待し難いのが瞭かになつて

來たので政府當局も積極的に之

が解決をはかるこに方針を更

な紛擾を惹き起しあしまいかと

憂えてゐる向もある

下院の如き途に該案の上程を無

期延期とするの止むなきに至つ

たこれにより自黨の勢力扶植の

爲め該案の通過を公約しき政界

の頭目連は期せずして官吏間に

怨を買ひ大いに男振りを落して

ゐるが若しフ氏が飽く迄其態度

をかへない場合には或ひは意外

な紛擾を惹き起しあしまいかと

憂えてゐる向もある

多分年度内に着手の運びに至る

であらうと

官吏増俸案行惱

ジユキヤ鐵道は

ソロカバナ線へ編入

十一月三十日州政府が買收した

ジユキヤ鐵道は管轄上ソロカバ

ナ線に編入されることになつた

して之を説明せしめた該計畫は

有利にしやうどたくらんでゐる

シドルの威力でニカラガ國を買

收し新運河計畫の爲めに今年の

ニカラガ國總選舉を米國側に

を募集し愈々事實上の保護國に

此處吾等の希望する所は我爲

州の教育問題につき深く考慮す

る所があつたが急々聖市に綜合

大學建設の計畫を樹て舊臘廿九

年頭に際し一言所感をのぶ

▼ 雜報 ▲

年頭に際し一言所感をのぶ

多分年度内に着手の運びに至る

であらうと

來年は世界的暗礁

一九二九年は經濟上世界的危

機なりと見られて居る即ち佛國

は約四億弗を支拂はねばメソ

レレンチャ協定を批准せねば

ならず獨乙は六億弗の賠償支拂

の義務ありド・ズ案は獨乙の現

状では履行困難と見られてゐる

シチイ銀行亞國支店

十二月廿四日正午、ブエノスア

イレス市の紐育シティ銀行及び

ボストン銀行兩支店は何者かに

爆弾を投せられて多數の負傷者

を出した、ボストン銀行の破損

は軽いがシチイ銀行はひゞく内

部は目茶苦茶にやられた、損害

が、無政府主義者がサッコ及び

ヴァンゼック両人の復仇のため

る犯人は何者か未だ判明しない

ド・ズ案は獨乙の負傷者

が、無政府主義者がサッコ及び

ヴァンゼック両人の復仇のため

る犯人は何者か未だ判明しない

シチイ銀行亞國支店

リオ・デ・ジヤネイロ支店

横濱正金銀行

リオ・デ・ジ

聖市

新賀年

直輸入商

日本貿易商會

直輸入商

伊東商店

日本品諸雜貨商

遠藤常八郎

コンデ街廿三

營業課目

各種銃器修繕 鎏金 其他著音器修繕
ミシン タイプライター修繕

渡邊銃器修繕所

池邊乙人寫真館
千松田田昌正人
田田昌正人

PHOTO

Otto Studio

Rua Santa Thereza, 25 andar sala 502
Tel. 2-4361ルアサンタテレーヴ
二番五階五〇二号室

矢部洋服店

プラサダセー九番
二階六號室

諸機械修繕

竹内鐵工所
竹内金市

石井洋服店

店員一同
石井七五三一

二木理髮店

コンデ・サルゼーダス廿一

直日本品商

梅田久吉

リベルダーデ街六七

O Japão em S. Paulo

日本品輸入商

舊藤崎商會

聖市支店

鈴木正雄

Bazar Paulistano

直日本品商

梅田久吉

リベルダーデ街六七

昭和三年一月一日 (四)

號五六五
新 伯 日 開

新 告 謹

山 田 隆 治

力 一 ザ 東 洋
松 尾 龜 吉

ルア サント、アントニオ 四七一A

齒 科 醫
村 上 真 市 郎

土 木 請 負 業
鮫 島 新 之 助

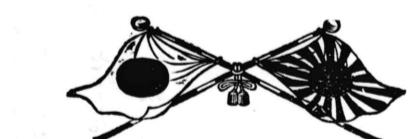
齒 科 醫
金 城 山 戶

日本品雜貨

力 一 ザ オ グ ラ
小 倉 嘉 兵 衛

ルア サンタ、エフイゼニヤ 一四七

齒 科 醫
石 田 漢



所次仲符切定指社會船商阪大

大河內藥化學研究所

ルア アツセンブレア三十一

聖市旅館同業組合

東京館 仲村 渠三郎
マカア街二九一 電シダ一四七六

上地 上地 彌藏
カニタ街十一 電セントラル五七〇一 郵函二二三五

小川 小川 源右衛門
コンセレイロフルタード街十六 電セントラル四四七六

大和坊 迫健造
コンセレイロフルタード街二

旭 秋田 稔三郎
コンセレイロフルタード街一電セントラル四二〇一

末廣 中山 忠太郎
コンセサルセータス二番電セントラル五六三八

傳說・童話

杉山帆影

クルゼイロの國、ブラジルの國土が發見されて漸く四百三十年になん／＼とする。國としての歴史は極めて新しいので、何千年と云ふ古い歴史を持つ國々のやうに、伯國の傳説や童話は豊富ではない、而もロシアのラダと譬へられてゐるほど、世界各國からの移民からなる國民なので、インデオ諸民族間に傳へられる童話や傳説をのぞいては、伯國純粹のものではなく、アフリカや葡萄牙や西班牙や伊太利や、其他諸國人が持ち込んだそれ／＼の傳説や童話が、年を経るほどにいつの間にか混合して、今ではブラジルの傳説や童話として傳へられるに至つたものが多い。例へば六月のサンジョアン祭やサントアントニオ祭の如き西班牙人や葡萄牙人にもたらされた慣習である。サントアントニオはボルトガルでは繩結びの聖徒としてゐる、ブラジルではサン・ジョアンがその役を務めてゐる、又黒人のいたづら者サンペレ、の如きアフリカから入つたらしい、その兄弟分とも云はれる惡智慧ペードロ（ペードロ・マーラス・アルテス）はボルトガルから連れて來られた形跡がある、ナタールを祝ふことは此歐洲移民の渡來以後の極く新らしい風習である。かうした事を詳く研究する事は之を他日に譲つて、茲には代表的童話や傳説の二三についての大略を紹介しやうと思ふ

と云はれてゐる。
サマンバニアの花とサシとの詩的な傳説、サンに災された様な實話や哀話もあるし、サンとは奴隸時代に耕主や其の道樂息子等に、黒人の女奴隸を弄ばれて妊娠すると、耕主夫人の嫉妬を恐れて、産期せまるご密つて森林へ生み落して来る。それが惡魔に育てられてサンになるなどとの説、とても限られた紙数では盡せないので、何れサンについては春長にゆつくりと書く事にしやう

トリンダーデの寶物
英國が自分のものにしやうべしたのを鐵血將軍フロリアー・ペショトが戰爭を覺悟して一喝して追ひ拂つたと云ふトリンダーデ島には昔有名な海賊が莫大な價額の寶函を埋めた儘になつてゐる傳へられてゐる
惡智慧ベードロ其他に就いては他日又筆を改めて書くことにする
(一九二七年一二月二七日稿)

樂部 リベルダーデ六八
二一五四〇〇
市 郵函 六三九二
余所次郎
書房
年
真館 ピラビチングイ廿一
話 二一二四五〇
ンバウロ市 英雄

謹 嘉 貞 新 年

横尾佐一

肥田藥店

内外雜貨仲買商
常一醫學士
齊藤等ソロカバナ線アル
パレスマシャードソロカバナ線
アルパレスマシャードソロカバナ線ブレジデ
ンテ・ウエンセスラウドウラデンセ松
イタギリス牌
郵簡 一三二寫眞師
横山龜一

ミナス州コンキスタ町

雜貨商 松隈商店

上野米藏
バラナ州カンバラ出張撮影の
御招さに應す

野菜商

枡田敏

ホテルサンパウロ

白井介人
バラナ州カンバラアラ、クアラ線
カタシヅーバ
郵西 八四二島崎岩吉
黒河市ゼラル・オゾリオ 二四
電話 三九〇ソロカバナ線
バラグアス驛
太陽植民地
日本人會雜穀仲買
安元青太パウリスタ線
ドアルナーナ綿花仲買商
ヤ・セザル牌

岡島仁郎

Caixa Posta, 114 C. Cozar
Sorocabana

HOTEL PROGRESSO

BAURÓ

ホテル

プログレツソ

澤尾磯七

バウル驛前

家具商

古賀

古賀商店

工務部一同
バウル

に違ひないが稼業とあれば仕方
がなかつた。

純は下男に薬籠を持たせ我家
を出た。が色町なぞへはこれま
でついぞ足を踏み入れたことは
なかつた。彼と同年配位の友達
は大てし親に内しよで遊蕩をして
ゐるやうであつたが、少し變
人に生れついてゐる純は少しも
そんな氣は起らなかつた。友達
にさそはれても一度も應じたこ
とはなかつた。けれども友達の
面白さうな話を聞くと、自分の
知らないさういう世界に對して
軽い好奇心は起るのだつた。『ど
んな處だらう』……想像して
見るけれども、そして偶さか用
事があつて色町の中を素通りを
するやうな場合には、上方格子
で表をかこつて長い暖簾を掛け
てあるその奥深い家の中をそれ
となく覗いて見たりするが、妻
から見ただけでは色里の内部の

つた女や、髪の薄くなつか女や
みんなそんな女ばかりだつた。
かういふ女達が多くの男達の愛
慾をそら事が出来るかと思ふ
と純にはそれが不思議に思へた
『此方で御座います』
といつて番頭は一間の障子を
明けて純を中へ招いた。狭い部
屋に簞笥だの火鉢だの置いてあ
つてそこに女が布團を敷いて寝
てゐた。女は醫者を見ると布團
の上に起き上つた。
色が雪の様に白く、眉が迫つ
て、鋭い眼つきをした女だつた
純は一見して彼女が勝氣な女で
あることを知つた。齡は二十か
二十一位だつた。

『拜見しませう』と純は患者に
いつて脈をみ、舌を見、それから
眼瞼を見最後に腹診をして一
通り診察した。彼が見た處で
は彼女の病は肋膜の病であつた

『先生治りませうか』

お加代は此樓へ身を賣つて
らまる二年になるが、その間
とお職を張り通したと云つ
お職と云ふことが純には判ら
かつた。

『お職を張ると云ふと…?』
『おほゝ若先生はお坊様です
と』とお加代は笑つて云つた
純は何んだか馬鹿にされたや
な氣がして少しムツトした顔
して直ぐに歸つた。

その後純は引續いて三日に
一度づゝ越前屋へ往診した。患
者は少しづゝ快方に向つた。四
回も行くと彼はすつかりお加
代と親しみ深くなつてゐた。見
れるに從つて、それは彼女の
康が快復されつゝあるからで
あつたが、彼女の美しさが純
眼につき出して居た。富士額
生え際や、柔かな頬などが特
美しかつた。考へる時眉を寄

「来ますとも」と彼は何氣なうに答へた。するとお加代は嬉しく、「さうで御座いますよ」と、まる様な眼つきをしていつた。
お加代の病氣は三月ほど経つばかり全快した。樓主も喜んだ。佐兵衛と樓主は、一たい奉公人に對して深切に心をあつたが、この家で一番賣子であるお加代のことだから、今年度の病氣も特別にいたはるのだった。もつともそれ爲めにお加代が二年も年季をしたことをついては彼は何んも知らなかつた。お加代は喜んで、あまりに白腹を切つて全快をやつた朋輩の友達には一人も玉をつけてやり御馳走をつて酒を飲ませたりした。その晩は彼も招ばれたのでその席に列つた。

FERNANDO HAKRADT & C°

Rua de S. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa 948 São Paulo

F. S. Hampshire & Companhia Ltd.

KANAGAWA-MARU Sahirá de Santos no dia 26 de Dezembro de 1927
WAKASA-MARU Sahirá de Santos no dia 28 de Janeiro de 1928

母國へ一番早く着く船

神戸まで サントスから六十三日

本郵船の船は毎月一回南アフリカの神戸に向
ントスを出帆します。内衛生設備の完全、食事の優秀、乗組
の懇切については是定評があります。

かながわ丸 十二月廿六日
わかさ丸 一月二十八日

サントス港出帆の豫定

神戸又は横濱迄 (一等二三〇〇ミルレーヌ
二等一六〇〇ミルレーヌ
三等一〇〇〇ミルレーヌ)

日本から御呼寄せの便法 日本
から呼寄せられる方の乗組料費を當地船代理店へ送
き、その船の指名番号で日本内地の御承人行持開請の差し代
取扱金の支取を受ける方法で乗船券と引換へられるのですこの
は送金の販賣用や手數が省け且つ最も安全な便法
あります

一出帆日取他詳解は
上記代理店へ御照會願ひます

日本郵船會社

に
る癖など、少し浮蕩的な眼
だのに強い魅力を純は感じ
た。女の方でも純が来る日には
身じまひをしてソワソワし
て居た純は診察が済んだ
何時までもそこに居たい様
持がして非常に長居になつ
それでも純はそれを懲だ
はなかつた。遊女にしかも
は自分の患者である女に向
懲をするなどと云ふことは右
得べからざることであり且
されでゐないことの様に感づ
のだつた。純は自分でさう感
てゐるが、お加代の朋輩の女
達などは若い醫者とお加代と
懲を陰では露骨に評してゐた
で彼の顔を見ると婉曲に冷か
たりした。そんな時純は非常
侮辱された様な氣持がして腹
立つのであるが、お加代の部
に入るときの腹立たしさも消
てしまつてあつた。

An illustration of two dark-colored leather suitcases with metal feet and handles. The larger suitcase is upright, and a smaller one is shown partially behind it.

This block contains three images: a detailed illustration of a leather suitcase with multiple compartments and straps; a perfume atomizer with a decorative base and a small bell-shaped cap; and a large perfume bottle labeled 'L'CLAIR VERMOREL' and 'VERMOREL à VILLEFRANCHE'. The background features the company name 'F. Ambrosio & Co.' in large, bold letters, and the address 'Rua José Bonifacio, 39 Caixa 152 Tel. Cent. 1298 São Paulo' below it. To the right, vertical Japanese text reads '噴霧器' (Atomizer). On the far left edge, there is vertical text in Chinese characters: '一徽毒'.

はやくて確實な
優秀の大型客船
(命令定期毎月一回)

◎日本へ
らぶらた丸

有名なパナマ運河北
米諸港御見物の好機

全 一月 十四日(サントス)
十六日(リオ)發

◎日本より
れんとす丸

全 一月 十一日(リオ着)
十三日(サントス)

詳細は左記へ

ANTUNES DOS SANTOS & CO.
S. Paulo:- Rua Barão de Itapetininga, 39-41 A
Santos:- Rua do Commercio, 84

サントス駐在員 木對良雄

日中九十五六度を往來してゐる暑氣に面を焦がせ乍ら四十日をアリアンサ植民地に過ごしたのを唯一の土産としてルツサオンサのうま煮の御馳走に預つた俺はカスカベールのつけ焼とソビーラの驛に出た。驛はチエテ河から六百メートル程もあるが此鐵道開通當時其まゝの板小屋、文化植民地アリアンサの門を飾るには趣があつていゝ、驛前にはワゴンが一つ、それから五六匹の豚の仔と山羊と鶏がダラシなく抛り出されてあるメリケン粉の袋をつゝいてゐる。バウル發の急行は午後四時半に着くことになつてゐるが此日は無闇どおそらく五時半になつてゐるが未だ來ない。驛長に聞いてみるとまだ早いと云ふ、一体何よりも早いのかと訊きたゞしたら今日中には着くから心配せんなど笑つてゐる。流石の俺も氣負ひがしてア、そうかと在伯十年流の襟度を見せねばならなくなつた

タード耕されジャルダンでも出来るかと思つてゐたら其儘自動車の數は二千台を下らぬであらう、廣場の周囲の建物も第一の建物など古くて小さくて變へた。サンタエレナの大ビルディングを筆頭にデカ物林立して昔帝國總領事館のあつた聖市來年あたりは崩壊されるだらう比較的變らないのがキンゼとデイレイタとサンメントの三街に圍まるトリアングロだ、それでも著名な銀行會社で改築や模様變えさしたもののが大分ある。デラサントニオブーラードからアベニーダサンシヨンへ下る左側に目下建築中のビルディングは今十二三階まで出来上つてゐるが此上ぞれ丈延びることやら恐らくこれが聖市最大の建物となるであらう。郵便局附近からアビランガ街のはどりまで七八階の建物が弗々ありアパートメントの標札などを見受ける。このアベニーダは遠くアグアブランカ廣小路と一直線に連絡する筈で目下工事最中である、デレイタからお茶の水橋を渡つてバロンディタペニンガへ出るところには高級なホテルやレストランや婦人向吳服店がある、レップブリカ公園を過ぎラルゴアロイセを經てバルメイラス街に出る。こゝに軒を並べてゐるのは日用品販賣の商店ばかりサンベント廣場から始まるフロレンシオ・デ・アブリウ街は機械類陶器類の卸商が其大部分を占めお隣りのブリガディロ・トビヤス街も最近其傾向があるが此方は紙類雜貨が主とされてゐるやうだ、吳服類の卸小賣の盛んなのは何と云つても元郵便局前ゼチラル・カルチイロのだから坂から五月廿五日街にかけてのトルコ店で一寸柳原の古着屋か神田の古本屋といつた格

辛新賀謹

日一月一年八三九一

切符取次版

エルペスター四四

サントス市

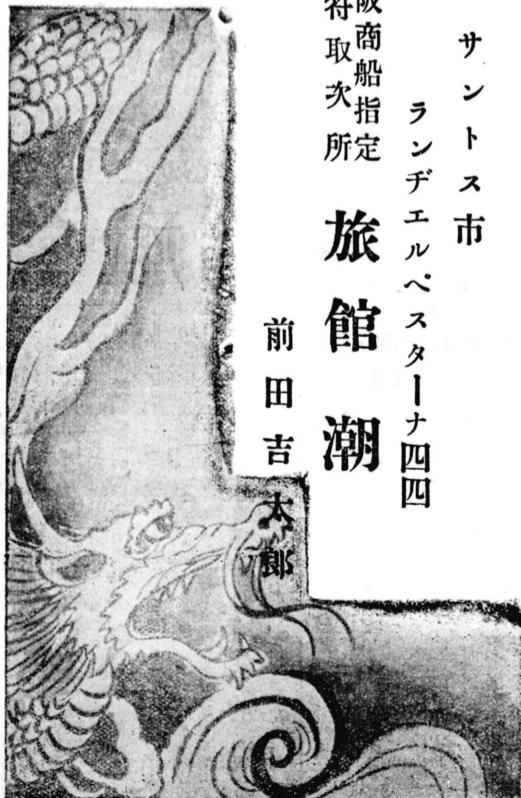


干魚、塩から、削ふし製造元

サントス市
商業會

業込品賣糧食船舶各

ヤマカ合資商會



社會的良心を
發達せしめよ

竹内余所次郎

人の心の底に所謂良心といふものがあるのは、萬古不易の事實であるらしい。悪い事と自覺したことをすれば心が咎める。善い事を思つたことをしてゐれば心が安らかである。之は古今東西を通じて動かぬ所であらう。しかしながら此良心判断の対象となる事は、所により時に相違があり、變遷がある。即ち何が悪い事であり善い事であるといふ事になる。ことに其の事實の一例を挙げて見るならば、我邦の封建時代に行はれた敵討といふ事の如きは、其の時代の人に取つては世界中一体に同一であるといふわけに行かず、古今を通じて變化がないといふのではない。

昔のギリシャの學者などは、奴隸は當然の制度であつて、之れに束縛を加へ、人類を物件視するに何の疚しさを覺えなかつた。さればこそ社會は發達するのだから人がひどい事をやつて居るのを見れば、あゝひどい事をする者も、之を是認した時代では決して罪悪でなく、之を爲すものが心は何時の世に下もあつた。

昔は大名、武士、學者、文人等の社會の上層でさへ、遊廓に遊んで、女奴隸と戯れるなどを思つて居た。北米南部諸州に黒奴を多く輸入して以來、南北戰争の片づくまでは、奴隸は社會的必要で、一般に罪悪とはされはしなかつた。今日でも所謂「白奴」を賣買して、人身に多少の束縛を與へてゐる事實があるが、社會は次第に之を否認し運動は盛んになり、國際聯盟は頻りに之を論議してゐる。

昔は大名、武士、學者、文人等の社會の上層でさへ、遊廓に遊んで、女奴隸と戯れるなどを思つて居た。北米南部諸州に黒奴を多く輸入して以來、南北戰争の片づくまでは、奴隸は社會的必要で、一般に罪悪とはされはしなかつた。今日でも所謂「白奴」を賣買して、人身に多少の束縛を與へてゐる事實があるが、社會は次第に之を否認し運動は盛んになり、國際聯盟は頻りに之を論議してゐる。

正邪關係より起るのを常とする利害損得關係からよりは、是非の關係に分れて、大なる波紋を導き起り悪いが、事が一たび是非正邪に及ぶと、人類の感情が高調して、こそに絶大の變革を起すものである。

正邪關係より起るのを常とする利害損得だけ説いて居る間は、その心奥には正義を愛し、不正を惡む良心がある。問題が此の中核たる正邪に觸れて來ると其勢が猛烈になり来るのを常とする。

恭頌新刊
峰谷兄弟商會

リオ市 テオフイロ、オトニ街八五
聖市 ブリガデイロ、トビヤス街二〇

電話 四一七六八八

謹賀新年

謹賀新年

神田榮太郎
ナントス市

謹賀新年

昭和三年一月元日

洗濯業 アマドルブエーノ 一二八
レストラント ブラツサ、ジョゼ 一二二
ボニファシオ アントニオブラード七四

全經營者 上原直義

謹賀新年

医師 渡邊勸

家 具 商
金山喜三郎
ナントス市

謹賀新年

和洋御菓子製造所
原田高式
榮門松
ナントス市 セナドルル
フェージョ 一二五五

謹賀新年

大阪商船株式會社

サンタス駐在員 木對良雄

謹賀新年

上原商店

ナントス市

成功館

古謝將義
ナントス市

Rua João Bricola, 12 3 andar sala 50 S. PAULO
住宅 Rua Fontes Junior, 15 S. PAULO

氏 原 彦 馬 敬 白

謹賀新年

昭和三年正月元旦

伯國の新天地で

氏 原 彦 馬

活動を望む同胞への相談機關を設立

最近の聯合通信東京電報は昨年日本本國內だけの人口増加は實に百五十万に達し、開闢以來の人口増加レコードと云はれた

一昨年に比し尚且五割の増加だ

と報じて居ります。又他の電報は本年度の豫算中に人口調節上海外移住を奨励する爲めの費用として三百萬圓の追加を、内務省と外務省とは海外移住策を立て移民收容所を設け、移住地の言語風俗地理農業等を講習させると云ふ事を報じて居ります。

さうした行き詰つた日本を出て耕す地は廣く天恵厚いブラジルの天地に、生活の新境地を見出さうとして渡り来る同胞の數は

母國からの入船毎に數百名を数えて居ります。昨年中の渡伯同胞だけでも萬を数えて居ります。

母國政府は眞剣になつて國民の海外移住獎勵につとめ、伯國への渡航費を補助して居りますけれども自國の領土へ送るのではなく、獨立國たる他國内へ移住せしめるのですから、移住國へ入國した以上更に物質的に移住の面倒を見るといふことは出来難い状態にあります。もしそれをあえてすれば移住された國では内政干涉獨立權侵害として感情を悪くするに至ります。之は昨年リオに催された國際商事會議にも盛んに論議された問題

で、それ以来伯國でも外國政府があまりにその移民に保護をしが過ぎることを非として論ずるものが多くなりました。かうして國を出る迄は出来るだけ保護もし奨励もする母國政府も、足一

度他國に入つた者に對しては

精神的の保護援助はしても、物質的には之をなし得ない狀態にあります。

又渡伯移民を扱ふ海外興業會社は、扱ふ事は國家的事業でも矢張り一の營利會社の事であります故、自家經營レジスト・植民地へ入る者を除き、渡伯せしめた移民は契約労農者として勞力需用の諸珈琲農場へ配する外に對し、例へば土地を買はうとする時にても何等の面倒もせぬ話も致して居りません、又それを求むるのが無理であらうと思ひます。

實際新らしく渡伯された同胞又珈琲農場の契約を済ませて獨立農たんとする諸君、當國に農業經營を計畫する母國の資本家企業家が、それく適當な土地を求めやうと云ふとき非常な不便を感じて居ります、地味の上下、地權の確否等を第一とし地を求めて居ります、地味の不便を感して居ります。

成程唯營利を目的とする土地賣りは澤山ありますが責任を以て

過ぎることを非として論ずるものが多になりました。かうして國を出る迄は出来るだけ保護もし奨励もする母國政府も、足一

度他國に入つた者に對しては

精神的の保護援助はしても、物質的には之をなし得ない狀態にあります。

又渡伯移民を扱ふ海外興業會社は、扱ふ事は國家的事業でも矢張り一の營利會社の事であります故、自家經營レジスト・植民地へ入る者を除き、渡伯せしめた移民は契約労農者として勞力需用の諸珈琲農場へ配する外に對し、例へば土地を買はうとする時にても何等の面倒もせぬ話も致して居りません、又それを求むのが無理であらうと思ひます。

實際新らしく渡伯された同胞又珈琲農場の契約を済ませて獨立農たんとする諸君、當國に農業經營を計畫する母國の資本家企業家が、それく適當な土地を求めやうと云ふとき非常な不便を感じて居ります、地味の上下、地權の確否等を第一とし地を求めて居ります、地味の不便を感して居ります。

成程唯營利を目的とする土地賣りは澤山ありますが責任を以て

過ぎることを非として論ずるものが多になりました。かうして國を出る迄は出来るだけ保護もし奨励もする母國政府も、足一

度他國に入つた者に對しては

精神的の保護援助はしても、物質的には之をなし得ない狀態にあります。

(今年や豊年千俵もとつて
買ふてやりたや嬢の帶)
こんな祖國の俗謡そのまゝに
今は稻ならぬ珈琲の豊作満作
千俵はおろか三千も四千もと
た豪の者も數知れぬ程……と云
ふてはチト仰山すぎるかも知
ないが、先づ澤山居る、茲ノ
エヌ、櫻咲く日本にしあらば
其に稼ぎ共に苦勞をして來た娘
に三越や白木屋から流行の綺麗
な縮緬の帶でも買ふて喜ばして
もやうに、さて、こんなブリ
ジルの山奥、何を買ふて、わが
いとしの娘を慰むべきか……
れは勿論各目のお心まかせと
ておかう
顧ればその當時土地を購入す
ると言ふことは氣永な呑氣者の
やることにして、一般邦人から
白眼視されてゐたのを、敢然と
して他日の成功を期して土地を
買ふて入植した彼等は確かに勇
敢にして慧眼の士であつたのだが
豫ねて覺悟の上とは言へ、仙
の同僚の全く試みざる仕事を失
じて成し遂げると云ふことは因
より容易のことではない

りがあつた。一難去りて、一
りその都度獨立自營を信條とす
る彼等は、勇氣百倍して進
今でこそ皆恩比須のやうく
恐慌時代における人々の情
へつてゐたことつたらなかな
低利資金については、世
兎角やかましく論議されて
が多數のわが同胞を塗炭の
へり救ひ出したと云ふことは
かな事實である、即ちノロ
テの同胞が、低利資金に依
その發展の基礎はいよいよ
になつたのであるが、一方
て吾々日本人の堅忍不拔
神の賜であると云ふことを
してはならぬ

「難船は人を玉にす」むべ
哉わが同胞十年の艱難辛苦の
や彼等の手によりて丹念に作
られた珊瑚は、ルビーより
麗はしき實を結ぶにいたり
は轉じて樂となり、禍は樂
福となり、一家開樂、和氣
として、暮しつゝある彼等
状こそまこと美やまきし限
こそ……とでも言ひたい
收穫の初めころの珊瑚の
が二十五ミル、間もなく三
ミルを突破しこの調子なら
知らず百ミルにも騰るんで
るになり、十月頃になつて
年後半の所下坐り氣味になつた
採集をすまし乾燥を終え、
積みこんで値の昂るのを待
ぐんでゐた人々は、懲には
ない、こゝぞ思ひ切れ
ランとして空いてゐる驛は、天井にとどくまで積み
は、夜も晝も全馬力を傾注
休まずに仕事をやり中央大
の輸出を急いだ。いつもな
その爲めに珊瑚の精撰工
音

で賣り飛ばしてか、五百ミ
幣束、兩手で大金を安全第
に行くやうな近來頻りに日
やうになつた殿も、空世辞
もつてゐなか物言ふ世の中
さへ窺はれるのが、定めしどん——賣れて
いたプロミッ
る僕は肩を擦
として道をゆ
る時、思はず
たくなる。
うな好景氣は
補民初まつて
、金を儲けた
式の改善と向
情のしからし
は先ず己が住
ノの家やカフ
て出した。或
く數ヶ所にある
村一軒も残ら
たと云ふ位
普通相場の千
今では二百三
る。何とマニア
いか
料品や布類で
頭して、やう
ドで賣つて貰
つたら安くま
今ではあべこ
持つてゐる。そ
の方でも亦彼
さまを、ちやん
に少からず憤慨してゐる

年新賀謹

目一月二年八三九一

文化植民地	Caixa Postal, 52 Est. Paraguassú L. Sorocabana
總務部	山田登幸 主任伊藤敬三
農場部	中森憲太郎 主任藤村信幸 監督マノエル、センティエユ
營業部	塩見貞太郎 主任川村二郎
運輸部	吉雄 主任鈴木
倉庫部	岸根菊治 主任
在北美	島崎忠太郎 大瀧彌七郎
文化植民地協會	吉喜 島崎忠太郎 大瀧彌七郎
會長森淳	吉喜
副會長木村末喜	吉喜
會計島崎忠太郎	吉喜
全書記矢野和雄	吉喜
常置員坂本齋	吉喜

外	地	主	五	十九	家	族	一	同	全
婦人部	人事部	金融部	外交部	教育部	傳道部	美濃部	渡邊	長谷川	荒井
木村	石原繁太郎	熊谷喜一	荒井	森末淳	西林甚太郎	松喜	伊藤仲二郎	石原繁太郎	西林甚太郎
夫	人	島崎忠太郎	西林甚太郎	木村末喜	長谷川龜雄	吉	中野長壽	國藏	德松
人		大瀧彌七郎	大瀧彌七郎	森	矢野和雄	齊	渡邊國藏	龜雄	太郎
		島崎忠太郎	島崎忠太郎	木	西林甚太郎	齋	伊藤仲二郎	石原繁太郎	西林甚太郎
		人	人	村	長谷川龜雄	壽	長谷川龜雄	國藏	德松
					矢野和雄				
					吉				
					齊				

新奇賀謹

御旅館前地

並に食料品販賣

館主 前地七郎

イグアベレジストロ市街地

農產物仲買
日用品一切

佐近光藏

セツテバラ植民地

栗田精米所

工場主 栗田平市

イグアベ・レジストロ市街地

すがやま商店

店主 菅山鷺造

イグアベ植民地
レジストロ市街地

福田屋製菓所

店主 高橋増造

聖市コンデ、デ、サルゼーダス七

和洋菓子卸小賣雜貨及雜穀

エビス屋製菓所

店主 菅山光

ノロエステ線リンス町

平口裁縫店

店主 平口六三郎

イグアベ植民地レジストロ

リベイラホテル

館主 小松敬一郎

レジストロ市街地

出利葉商店

郵函 四四

Comp. Godo Bussan do Brasil S.A.

Rua General Camara 213

Caixa Postal, 1004

Rio de Janeiro

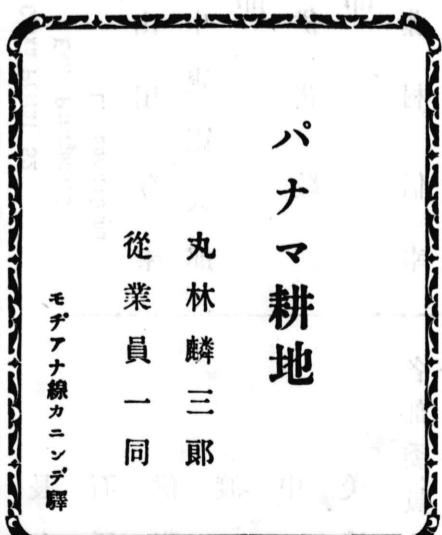
日本雜貨各種直輸入業
扇子各種製造販賣業
谷川夫人

ブラジル

合同物產株式會社

リオ・デ
ジヤ子イロ市

前田組



パナマ耕地

丸林麟三郎

從業員一同

モダアナ線カニンデ駆

(九頁よりつづく)
々、利息配當で安樂に暮らし得
れば、社會は之を上流の人と稱
し、新聞などは其娘を蔭にてさ
へ姫と呼び、其妻を令夫人と稱
して居るではないか。所謂貴族
富貴者、成功者であつて、社會
は此の利息配當頭わりに生活す
る、不勞所得者を尊敬し、もて
離して居る。此輩は社會多數美
望的にこそなつて居れ、侮蔑
の目で見るやうな事はない。極
急速の致富者を金と稱して、
多少蔑視すれば、尙ほ社會は
此輩を大臣政務官に祭り上げて
恬として耻ぢないではないか。
先づ此氣風を打破せねばならぬ
助ち社會的良心の發達である
良心對象の發達である。社會が
勞せずして驕る事を惡むことで
ある

(終り)

世界棉花の王様米棉

紐育棉花取引所

賀 正
山本洋服店
山本善作
北西線リソス町

賀 正
内山吉藏
北西線グワイサム牌

古庄常喜
ベンナ牌日本人郵便取扱所
伯刺西爾時報社支社
日伯新聞取次所
農業のフリル取次所

賀 正

ノロニステ線 ベンナ牌
カフエランデイナ町

和洋御料理
ひさご亭
山中基
北西線リソス町

和洋御料理
ひさご亭
山中基
北西線リソス町

André Sanches & Irmão
Cereaes
Rua Santa Rosa, 36 Lina

庄山才吉
キンゼノベムブロ街卅三
電話九〇番
郵函二一一

内外雜貨商

カーザソールナッセンテ
高橋忠一
北西線リソス町

ゑびす商店
峰松春二
リソス町郵函二一

恭賀新年 昭和三年一月一日

年新賀

ヤリーメルエヴ ザーカ

Casa Vermelha

九三二函郵町スンリ線西北

郎次定谷澁

全世界の經濟の中心が世界大戰以後英國から北美へと移つて來た。ブラジルの棉作者を下げたり上げたりする棉相場もリバーブールからニューヨークへと渡るのではないかと思はれる。何しろ現在米棉は世界產額の大部分をしめ毎年の輸出高が八億弗平均だからなんと云つても米棉は世界の最重要を如實に語るものだ。この米棉のニューヨークの棉花取引所の堂々たる高樓である約百名の會員を募めてこの取引所が創立されたのが今から五十七年前であつたが現在の取引所の建物は一九二三年落成したものでニューヨークの区域中最も美麗な建築物として賞金を授與されると云ふ自慢のものである。この相場は今まで勿論リバーブールの相場の影響を受けるがリバーブールの相場がこの相場に多少とも動かされる様になつて來た事は事實かの相場は今まで英國から弗のうなる北米へと運つて行く

Pharmacia Japonez

賀 正

公國前北西線リソス町

賀 正
山本洋服店
山本善作
北西線リソス町

長田旅館
館主長田幸助
リソス町ルイスガマ街三六

本田寫眞館
館主本田安記
北西線リソス町

青木兄弟商店

郵函一三七
北西線リソス町

北西線リソス町

新年お笑ひ草

今年で地球は一体何才になるだ
らうと甲が乙に問へば『地球の
年などわかる筈がない、テーラ
(Terra)は女性だから子』

『失禮ですが奥さんはおいくつ
におなりですか』『三十四で御
座います』『あら、もし私の間
違ひでないとすれば、たしか去
年も三十四でおつしやつた様に
思ひますが』『私はいつたつて
ウンなんか申しませんわ』

田舎からサンバウロに出た男、
キンゼ街で女を眺めながら『な
んて都會には足の多いことだ、
田舎じやあ手が足りないのにな
あ……』

威男辯護士を訪れて『どうか離
婚の手續を御願ひしたいのです
私の妻は私に犬の様に扱ひブー
ロの様に働かせるのです』辯護
士『それでは動物保護協會へ御
出になつたらじ、下せう』

ある貴夫人應診を願つゝ醫者に
『先生どうも此の二三日舌が痛
くて困つております』醫者舌
を見ながら『これは藥では治り
ません暫くの間舌を休ませるよ
り他ありませんね』

外國で有名な日本人

日本人で世界的に名の賣れたる
人は澤山はないが近年彗星の
如くに現はれた聲樂家藤原義江
氏は大正五年頃は東京は淺草
で低級な觀賞と拍手を浴びてゐ
たが大正十二年北米南米と音樂
修業に歩るきイタリーで遂に完
成し今日の名をなししたものであ
る。彼の母は日本人で父は長崎
の英國領事であつた

アヤカワは千葉縣安房郡の生
れ東京の中學を終へて北米へ留
學に行つたが、子供の時から活
動の好きな彼は學業そつちのけ
で活動撮影所の臨時雇のやうな
ことばかりしてゐたが、それが
遂に彼の名を世界的にせしめた
のである

去年トランボーム微菌を發見した
北米ロツクフェラー研究所の野
口英世博士はブライル醫界では
例の黃熱病發見の大恩人として
尊れてゐる人、福島縣の生れで
元は郵便配達夫であつた、明治
三四年渡米苦學して遂

に細菌學の權威として世界的の
名聲をかも得たのである

同じ姓の野口米次郎氏は日本の
產んだ世界的詩人として英美人

間に囂稱されてゐる、十八才で
渡米し新聞配達の余暇を以つて
勉學した人、今は慶應大學の教
授で今年五十四才

北米で名を擧げる日本人は可成
ある、英語演説で雄辯家として
彼地で認められてゐる唯一の日
本人は鶴見祐之氏である彼は東
大出の秀才、後藤新平氏の女婿
である。去年再び北米より招か
れて遊説の爲め渡米した以上の
他に女流聲樂家の三浦環女史、
ローマに居る喜波直子女史、畫家
ルリンの田中初枝女史、畫家で
は佛國畫壇で偉大なる地位を占
めてゐる藤田嗣治氏同じく英國
豪氏、北米に於ける活動俳優の
上山草人氏等がある

謹賀新年

汎リス青年會

謹賀新年

本田親授

併謝平素之疎遠
尙祈將來之厚誼
昭和三年一月元旦

野村南米農場

伊藤陽三

大窪

外一治

Faz. São Cornelio
Caixa 91 Cambarà Parana

雜穀商

上田留次

ノロエストラ線ブレジ
デンラ・アルベス驛前

Casa Oriental

Compra e vende generos do Paiz

雜穀商

上田留次

ノロエストラ線ブレジ
デンラ・アルベス驛前

謹賀新年

プロミツソン青年聯盟

謹賀新年

藤井正人

原平田重藏篤
ノロエストラ線リソニ町

謹賀新年

サントアナ耕地

岡野楠之助

ノロエストラ線リソニ町

正賀

釋ンソツミロブ

野田中善作
眞島平三郎
照崎貞二郎
井次郎

山村秀吉
島崎貞二郎
井次郎

謹賀新年

併謝平素之疎遠
尙祈將來之厚誼

昭和三年一月元旦

野村南米農場

伊藤陽三

大窪

外一治

Faz. São Cornelio
Caixa 91 Cambarà Parana

太平洋横断飛行は
大體北方廻りに

二つの基調行路を研究

太平洋横断飛行士の航法講習はすでに去十二月から開始され、講習方法は、一、航空術原

理、二、実際的航法、三、推測航法

一、天測航法、二、事前研究等で

尙この期間中數回の遠距離飛行

並びに夜間飛行及び満載状態、

發着陸などを實驗するものでこ

の飛行の基調となる航路は最も

考慮を要するものである。

第一航路は霞ヶ浦を發し一氣

にアラスカ半島南西端上空經由

シヤトルに至る凡そ七千五百キ

ロこれが使用機は八十ノット

の平均速力を有するを見て凡そ

五十時間要する。

第二航路は霞ヶ浦より北行し

千島に北でベーリング海峡を經

てシヤトルに至るもので八千キ

ロである。

第一航路は全飛行中僅かにアラ

スカ半島を見るのみで海上飛行

であり第二は陸地沿ひで安全性

が多い。しかしこの兩行路とも

全飛行を通じて曇天と夜間の難

行に終始するものである。丁度

五六月頃は北部太平洋は濃霧季

節である爲め大体一晝夜は視界

を辨ぜぬ暗黒飛行と悟らせねば

ならぬ、従つて霞ヶ浦出發は未

定だがシヤトルに於ける時間に

對し霞ヶ浦の時間はおよそ六時

間進んであるから翌日の日没まで

の時間は六時間ほど伸びるわ

けで頗る都合が好い。

大任を果した暁は

藤本飛行士に
女流飛行家の花嫁を
さ力を入れる福岡縣
わが太平洋横断飛行の榮譽ある
正員に舉げられた藤本飛行士
は、藤本飛行士が目出たくこの

大任を果した暁は
藤本飛行士に
女流飛行家の花嫁を
さ力を入れる福岡縣
わが太平洋横断飛行の榮譽ある
正員に舉げられた藤本飛行士
は、藤本飛行士が目出たくこの

太平洋横断飛行は
大體北方廻りに
二つの基調行路を研究
太平洋横断飛行士の航法講習はすでに去十二月から開始され、講習方法は、一、航空術原

理、二、実際的航法、三、推測航法

一、天測航法、二、事前研究等で

尙この期間中數回の遠距離飛行

並びに夜間飛行及び満載状態、

發着陸などを實驗するものでこ

の飛行の基調となる航路は最も

考慮を要するものである。

第一航路は霞ヶ浦を發し一氣

にアラスカ半島南西端上空經由

シヤトルに至る凡そ七千五百キ

ロこれが使用機は八十ノット

の平均速力を有するを見て凡そ

五十時間要する。

第二航路は霞ヶ浦より北行し

千島に北でベーリング海峡を經

てシヤトルに至るもので八千キ

ロである。

第一航路は全飛行中僅かにアラ

スカ半島を見るのみで海上飛行

であり第二は陸地沿ひで安全性

が多い。しかしこの兩行路とも

全飛行を通じて曇天と夜間の難

行に終始するものである。丁度

五六月頃は北部太平洋は濃霧季

節である爲め大体一晝夜は視界

を辨ぜぬ暗黒飛行と悟らせねば

ならぬ、従つて霞ヶ浦出發は未

定だがシヤトルに於ける時間に

對し霞ヶ浦の時間はおよそ六時

間進んであるから翌日の日没まで

の時間は六時間ほど伸びるわ

けで頗る都合が好い。

太平洋横断飛行は
大體北方廻りに
二つの基調行路を研究

太平洋横断飛行士の航法講習はすでに去十二月から開始され、講習方法は、一、航空術原

理、二、実際的航法、三、推測航法

一、天測航法、二、事前研究等で

尙この期間中數回の遠距離飛行

並びに夜間飛行及び満載状態、

發着陸などを實驗するものでこ

の飛行の基調となる航路は最も

考慮を要するものである。

第一航路は霞ヶ浦を發し一氣

にアラスカ半島南西端上空經由

シヤトルに至る凡そ七千五百キ

ロこれが使用機は八十ノット

の平均速力を有するを見て凡そ

五十時間要する。

第二航路は霞ヶ浦より北行し

千島に北でベーリング海峡を經

てシヤトルに至るもので八千キ

ロである。

第一航路は全飛行中僅かにアラ

スカ半島を見るのみで海上飛行

であり第二は陸地沿ひで安全性

が多い。しかしこの兩行路とも

全飛行を通じて曇天と夜間の難

行に終始するものである。丁度

五六月頃は北部太平洋は濃霧季

節である爲め大体一晝夜は視界

を辨ぜぬ暗黒飛行と悟らせねば

ならぬ、従つて霞ヶ浦出發は未

定だがシヤトルに於ける時間に

對し霞ヶ浦の時間はおよそ六時

間進んであるから翌日の日没まで

の時間は六時間ほど伸びるわ

けで頗る都合が好い。

太平洋横断飛行は
大體北方廻りに
二つの基調行路を研究

太平洋横断飛行士の航法講習はすでに去十二月から開始され、講習方法は、一、航空術原

理、二、実際的航法、三、推測航法

一、天測航法、二、事前研究等で

尙この期間中數回の遠距離飛行

並びに夜間飛行及び満載状態、

發着陸などを實驗するものでこ

の飛行の基調となる航路は最も

考慮を要するものである。

第一航路は霞ヶ浦を發し一氣

にアラスカ半島南西端上空經由

シヤトルに至る凡そ七千五百キ

ロこれが使用機は八十ノット

の平均速力を有するを見て凡そ

五十時間要する。

第二航路は霞ヶ浦より北行し

千島に北でベーリング海峡を經

てシヤトルに至るもので八千キ

ロである。

第一航路は全飛行中僅かにアラ

スカ半島を見るのみで海上飛行

であり第二は陸地沿ひで安全性

が多い。しかしこの兩行路とも

全飛行を通じて曇天と夜間の難

行に終始するものである。丁度

五六月頃は北部太平洋は濃霧季

節である爲め大体一晝夜は視界

を辨ぜぬ暗黒飛行と悟らせねば

ならぬ、従つて霞ヶ浦出發は未

定だがシヤトルに於ける時間に

對し霞ヶ浦の時間はおよそ六時

間進んであるから翌日の日没まで

の時間は六時間ほど伸びるわ

けで頗る都合が好い。

太平洋横断飛行は
大體北方廻りに
二つの基調行路を研究

太平洋横断飛行士の航法講習はすでに去十二月から開始され、講習方法は、一、航空術原

理、二、実際的航法、三、推測航法

一、天測航法、二、事前研究等で

尙この期間中數回の遠距離飛行

並びに夜間飛行及び満載状態、

發着陸などを實驗するものでこ

の飛行の基調となる航路は最も

考慮を要するものである。

第一航路は霞ヶ浦を發し一氣

にアラスカ半島南西端上空經由

シヤトルに至る凡そ七千五百キ

ロこれが使用機は八十ノット

の平均速力を有するを見て凡そ

五十時間要する。

第二航路は霞ヶ浦より北行し

千島に北でベーリング海峡を經

てシヤトルに至るもので八千キ

ロである。

第一航路は全飛行中僅かにアラ

スカ半島を見るのみで海上飛行

であり第二は陸地沿ひで安全性

が多い。しかしこの兩行路とも

全飛行を通じて曇天と夜間の難

行に終始するものである。丁度

五六月頃は北部太平洋は濃霧季

聖市

年新賀謹

Garage Micado

Tel. 4--0040

Garage Congresso

Tel. 2--0081

カーザ日本
本道五郎八
緒方末彥

カーザ廣島
鹽田安太郎

カーザ東京
杉本芳之助

カーザ中山
中山伴一郎
賣店
ルアバーネイラ
アローセ四
グリセリオ一六二

藤柳家具製造商
吉野精郎

家具製造販賣
カーザヨコハマ
松橋久彌

カーザジャポン
吉田政之進
外職人一同

カーザミカド
ジヨーデ・スガ

組まじめさ

哉直島鮫
同一員業從

師技量測築認公

平政田原

番ニザーレテ。タンサアル
室就壹壹。○壹壹階ニ

淫賣と犬と私

秋津鷹

「まあ お可哀相に 死なうと
までお思ひなすつたのですか
だけどよございましたよ 死ん
で花實が喚くかいナ ッてチ！
死んだやア つまりませんよ
えええ さうですともサ 命は
神様からの授りものですからチ
勿体ない その若さで生きて行
けないなんて事があるものです
か まして別嬪であるらしやる
のに……」

「ただご お女将さん 妻……
今日きちしか宿めて頂くお金が
ないんですの」

「ほ、お お金なんか あなた
といふんですよ」

うつむいて居た彼女の頭の上
を越えてお女将さんの片目がガ
チリ／＼と…… 翻譯するどー
「お前さんアレだよ」

て事になるのですが…… それに
各へて亭主がバチ／＼を返へし
て唇をヒン曲げて
「ホイ來た しつかり頼むせ」

の演當が演せられたのでしたが
お乳母 日がさ のお嬢様
小春日和の温い日ざしを受けた
西向きの椽側、椽側一パイに
ひろげられた敷蒲團 そこに生
き残つた蠅が一匹 力ない動作
で 目擦り手揉み羽しごいて…
そこへ蠅取蜘蛛が一匹シリ
と…… 可哀相に氣が付かない
蠅は六本の足をデット並べて、
動きもしない、未だ氣が付かぬ
蜘蛛はシリシリと アツ!! あ
ぶない…… と云ふのが此の形

「妾彼の時本當にお女将さんが
たのでした

「お可哀相に 死なうと
までお思ひなすつたのですか
だけどよございましたよ 死ん
で花實が喚くかいナ ッてチ！
死んだやア つまりませんよ
えええ さうですともサ 命は
神様からの授りものですからチ
勿体ない その若さで生きて行
けないなんて事があるものです
か まして別嬪であるらしやる
のに……」

「ただご お女将さん 妻……
今日きちしか宿めて頂くお金が
ないんですの」

「ほ、お お金なんか あなた
といふんですよ」

うつむいて居た彼女の頭の上
を越えてお女将さんの片目がガ
チリ／＼と…… 翻譯するどー
「お前さんアレだよ」

て事になるのですが…… それに
各へて亭主がバチ／＼を返へし
て唇をヒン曲げて
「ホイ來た しつかり頼むせ」

の演當が演せられたのでしたが
お定りの筋書です 銅版にして
印刷した様な文句です マア大
概にして氣が付きさうなものぢ
やありませんか いま／＼しい
他から見て居れば齒がゆいつて
ありやしない。 ですが子
こが所謂深窓の箱入娘ですか
たん場まで氣が付かなかつたと
云ふんです

どう／＼宿錢の借を盾にお女將
さんの妹が經營するベンソン
ルシーヨヘムリエール・ブブリ
カとして手取り早く云へばアマ
ドル・ブエノ街の何番かの、淫
賣屋に賣春婦として叩き込まれ
たのでした

「アーヴィング 様のやうに見えました
オ馬鹿チヤンでしたワチ
有難うツ てお女将さんの赤い
ブケ／＼した手にキッスしまし
てあげますから家で遊んでおゐ
でなさいと云つて呉れたのでし
たが 私しさうもして居られな
いと思つて矢張り出かけました
ですけれど仕事口なんか一つも
スブリメンタに一日でもおいて
呉れる家さへありませんでした
これはよほど後の話ですが、
ナデーシャは何度か此の述懐を
山本君に聞かせたさうです

お女将さんは仕事口は私が探し
てあげますから家で遊んでおゐ
でなさいと云つて呉れたのでし
たが 私しさうもして居られな
いと思つて矢張り出かけました
ですけれど仕事口なんか一つも
スブリメンタに一日でもおいて
呉れる家さへありませんでした
これはよほど後の話ですが、
ナデーシャは何度か此の述懐を
山本君に聞かせたさうです

お女将さんは仕事口は私が探し
てあげますから家で遊んでおゐ
でなさいと云つて呉れたのでし
たが 私しさうもして居られな
いと思つて矢張り出かけました
ですけれど仕事口なんか一つも
スブリメンタに一日でもおいて
呉れる家さへありませんでした
これはよほど後の話ですが、
ナデーシャは何度か此の述懐を
山本君に聞かせたさうです

お女将さんは仕事口は私が探し
てあげますから家で遊んでおゐ
でなさいと云つて呉れたのでし
たが 私しさうもして居られな
いと思つて矢張り出かけました
ですけれど仕事口なんか一つも
スブリメンタに一日でもおいて
呉れる家さへありませんでした
これはよほど後の話ですが、
ナデーシャは何度か此の述懐を
山本君に聞かせたさうです

お女将さんは仕事口は私が探し
てあげますから家で遊んでおゐ
でなさいと云つて呉れたのでし
たが 私しさうもして居られな
いと思つて矢張り出かけました
ですけれど仕事口なんか一つも
スブリメンタに一日でもおいて
呉れる家さへありませんでした
これはよほど後の話ですが、
ナデーシャは何度か此の述懐を
山本君に聞かせたさうです

年立つ心
——舟人歌集より——
舟

吉子見れば幼な心のよみがへ
わがそなまの癖あらはなる
上間ぬちにさし来る陽脚の走
れば出でつゝ迎ぐその陽の色
初日子をろがみ乍らふと
く雪の降らねば降らざる寂
貴しければマンヂオカの雑考
吸りあひ壽ぎ祝ふ去年も今年も
山のさくらの花散るさまを
いくとせの後にかも見む故用
あけ明るき夏の一年立つ
樂しき中にも尚、梅、桜、
の片鱗すら見得ざる寂寥
く春の物化しさを覺ゆ。
一ましてや、恥らひ逃る
道の避けさーわ貧しきさ
はふるびとなるをー。
かにかくに、生き合へる
ト感謝をもち、幸ひもろ
健在を祝福しつつー。
あが胸おざる

青 春

戀するは怖ろしと
思ふてゐたに…
戀さるゝは、かくも嬉れ
花は笑ふよ、大空のひろ
鳥は歌ふ、戀の小唄
ア、…時は春なり
君が居に

忍び逢ふ夜のうれしさ
かくましき腕にいだかれ
むつ言をきつ
わが口紅をうつし染めん
ア、…我が胸おざる
時は春なり

アリアンナ	題…露、蟋蟀、霧
陸穂會句集	露しげき艸叢過ぎて一つ道
三日月やマモナの露の垂り	山
落つる	掬
花枝をそつと手折るや露の	敏
玉	艸の露をよ吹く風にこぼれ
けり	孤
葉末傳ふ露光るなり夕月夜	山
夜や更けしマモナの露の落	山
つる音	清
蟋蟀や書静かなる花畠	芦
蟋蟀の庭に阿子抱く夕哉	掬
蟋蟀に友の名残を惜みけり	掬
蟋蟀の食ひたる蛟帳や秋寂	清
こほろぎや望郷の念稍々に	山
あり	掬
朝霧や隣の井戸の軋る音	二
移住地のバラック隱見す霧	二
の中	田
向ふ岡の眺め新たなり今朝	田
の霧	田
霧はれてさつと澄みたりカ	田
フェーザル	笠
霧罩めて曉近し信濃村	田
異國人の唄面白し霧の山	一
掬	橋
佐和太	一
一	一

The image shows the masthead of a Japanese-Brazilian newspaper. The left side features vertical columns of Japanese text: '聖市' (São Paulo) at the bottom, '日本人會' (Japanese Society) in the middle, and 'サンパウロ' (Santos) at the top. The right side contains the date '昭和三年一月一日' (January 1, Showa 3). The title 'Colonização Martins' is prominently displayed in large, bold letters, followed by the address 'R. General Couto de Magalhães, 26 sob.' and 'Caixa Postal, 1820 S. PAULO'. Below the address is a decorative horizontal line. To the right of the line, there is a column of Japanese text: 'マルチンス' (Martins) at the top, '殖民會社' (Colonization Company) in the middle, and 'サンバウロ市' (Santos City) at the bottom. To the left of the address, there is another column of Japanese text: '地主' (Landowner) with 'ジヨアンゼ!' (Joaquim) below it, and '代理人' (Agent) with 'マルチンス' (Martins) below it.